

波佐文化協会の歩み（PDF版）

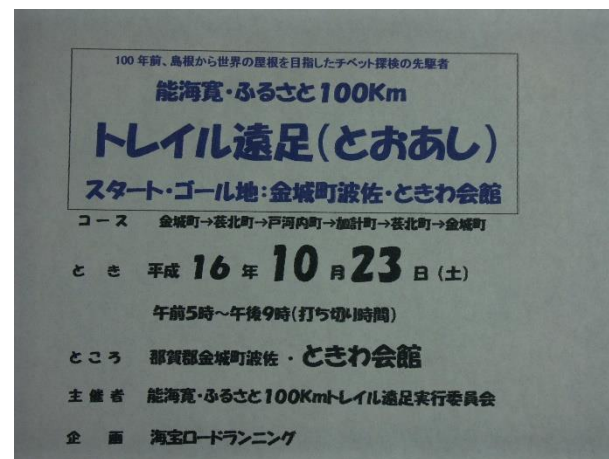
⑤

6. イベントによる町おこし

- ・ 100Kmマラソンコースの設定・誘致
- ・ 「能海寛歌碑」10基の建立
- ・ 歌碑巡りウォークの企画
- ・ ふるさと図書の出版

100Kmウルトラマラソン

- 100Kmコース設計
- ロード使用許可
- 実行委員会の結成
- エイドステーションのサポート
- 100Km試走会(平成15年10月)
- 第1回トレイルとおあし大会(平成16年10月)
- 第2回トレイルとおあし大会(平成17年10月)



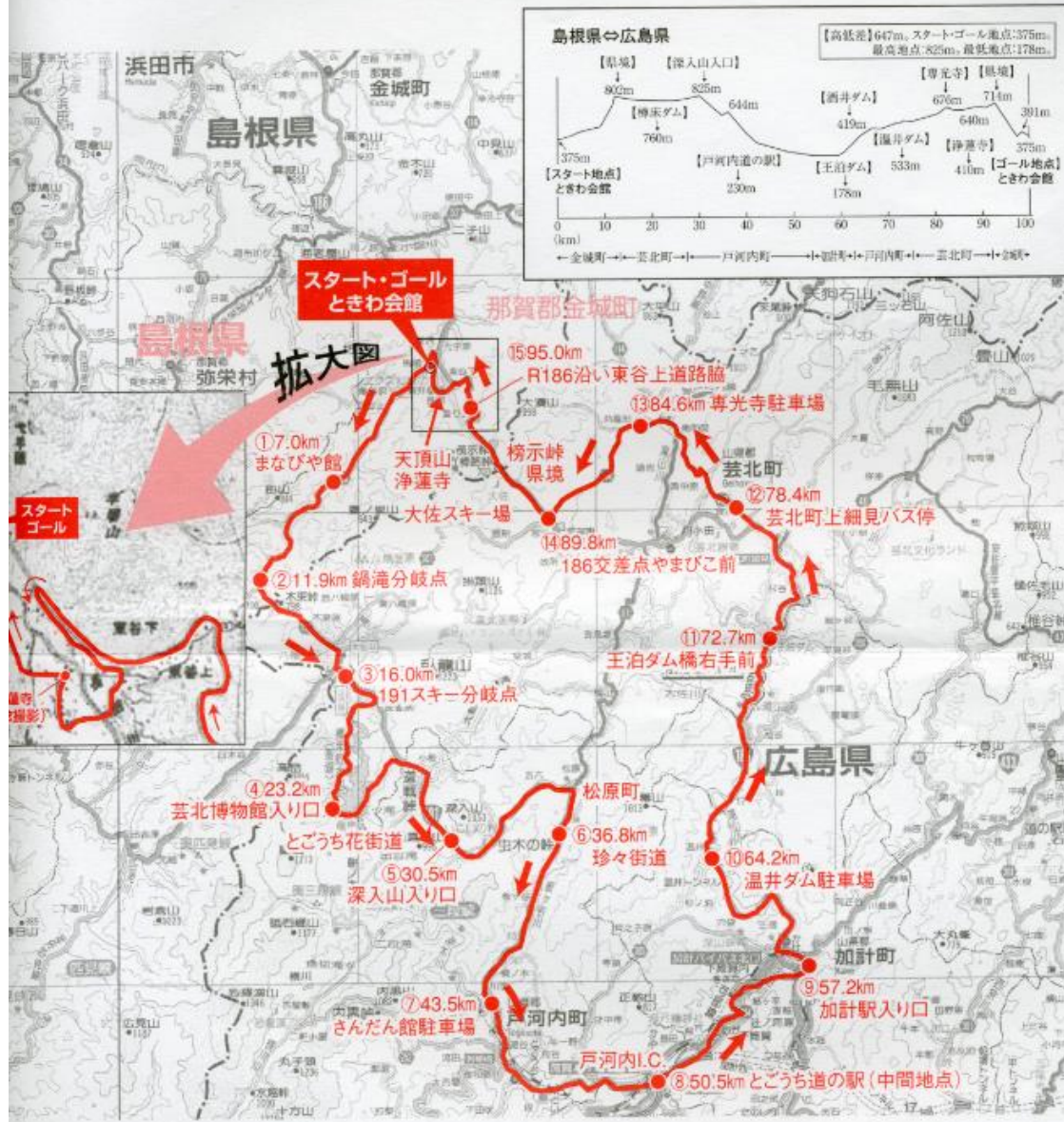
イベントの企画
100Kmウルトラマラソン
コース設計・ロード許可



【2004年能海寛・ふるさと100kmトレイル遠足】

コース案内図

開催日：10月23日(土) 午前5時00分スタート



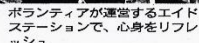


能海寛ゆかりの100^{キロ}マラソン

駆けて感じる 偉人の足跡

[illegible]

山霧や紅葉給水所も応援



『能海寛』1868年、真宗大谷派浄蓮寺・金城町で生まれる。慶應義塾と拓学院（現東洋大学）で学び、仏教の經典を求めてチベット探検を決意。98年、中国に向かい、99年、1900年にチベット入りを試みるが、いずれも失敗。01年4月、雲南省大理で記した遺書あての手紙を最後に消息を絶った。

金城町出身のチベット探検の先駆者、能海寛(1868—1901年?)に思いをはせ、159人のランナーが中国山地を越えた。能海ゆかりの地を回る、初めての「能海寛・ふるさと100*トレイル遠足」^{資料}。チベットを目指した偉人の足跡をたどった。

(和田木健史)



夜明け前、一斉にスタートする

[illegible]

探検家・能海寛を追体験

金城発着に来月100^千。遠足



「100キロトレイル遠足」の大会パンフレット

全国から150人参加
募ボランティア集

百年前の中国大陸を渡り歩いたザベット探検家 能海寬の故郷金城町で十月二十三日、往時の健脚を追体験する「ふるさと100キロトレイル遠足（とおあし）」が開かれる。広島県境を越えて歩き金城町へ戻るといふ企画で、全国から約百五十人が参加する。

大会は、全国各地で展開している民間団体「事務局・東京都、二年前に出版された能楽の100キ遠足を「海宝ロードランニン 海宝道義代表」が主催。海寛の伝記漫画を講

計画した。

大会は午前四時から午後九時まで開かれ、資格は問わない。問い合わせは同本部（電話08055・44・0000）に。九月末まで募集を受け付けている。

金城町にある能海の牛家・浄蓮寺(同町長田)を出発し、広島県芸北町、加計町などを經由して寺に戻る。



はなが、百^{ヒャク}という
長干^{チヤンカン}場のため、約七
八^{シチハチ}に「一カ所、給水場
などを設置する予定。
地住民などで組織
する大会サボト本部
は「一カ所に三人程度
ボランティアスタッフ
を配置したい計画。給
水などを担当するボラ
ンティアスタッフを募
集している。

ボランティアの参加
資格は問わない。問い
合わせは同本部（電話
03-3404・0000）まで
10。九月末まで募
集受付付けている。

トレイル遠足(とおあし) 100Kmコースの企画



ときわ会館⇒八幡高原⇒聖湖⇒深入山⇒戸河内IC⇒加計町⇒温井ダム⇒
王泊ダム⇒専光寺⇒大佐スキー場⇒天頂山浄蓮寺⇒ときわ会館(ゴール)



全国28府県から180名参加。前夜祭会場の
ときわ会館でスタート前の記念撮影



能海寛トレイル100Km遠足(とおあし)大会
全国28府県から180名参加。前夜祭会場の
ときわ会館でスタート前の記念撮影



エイドステーション(広島県・聖湖畔)



エイドステーション(広島県・珍々街道)



エイドステーション(広島県・さんだん館駐車場)

加
計
町

エイドステーション(広島県・加計町)



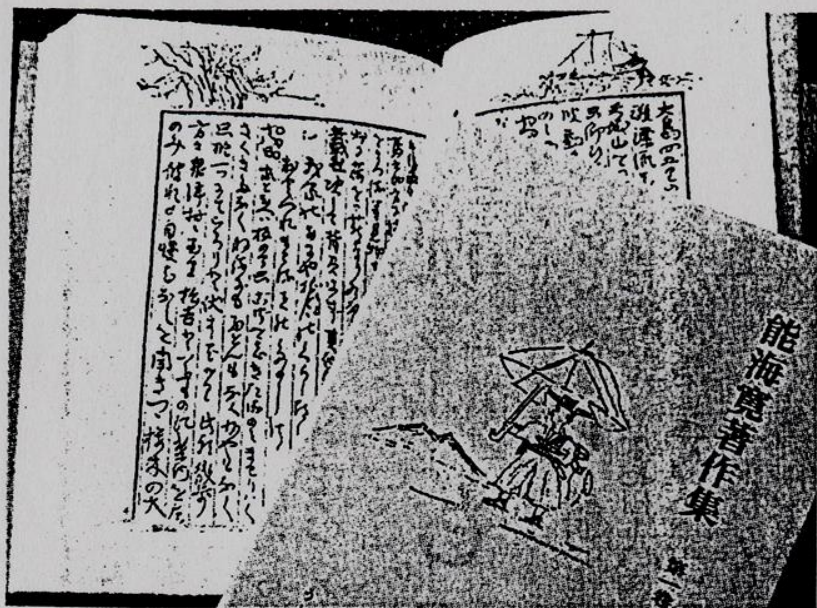


エイドステーション(広島県・専光寺)



ゴールのときわ会館

出版された能海寛著作集第1巻。旅先のスケッチも描かれている



島根県金城町出身のチベット探検家、能海寛(一八六八年—没年不詳)の著作集の第一巻を能海寛研究会が出版した。原本を写真撮影し、能海の筆跡やスケッチを忠実に紹介しており、今後、全十四巻を刊行の予定。交友日記や講義記録など、当時の世相や研究者の動向も明らかにする貴重な資料になりそう。

能海寛の著作集出版

筆まめだった能海の資料さん(東京都)が監修した。は、生家の浄蓮寺(同町長 A5判で、一巻は二百六十田)から三千点以上発見さ 四六。

能海の足跡を広く知っても 録I」には、チベット探検のらおうと同研究会が刊行を 必要性を唱えて自費出版し計画し、歴史家の金子民雄 た「世界に於(お)ける佛教

研究会、全14巻予定

筆跡、スケッチ忠実に紹介

本影 撮写
原写 真撮

徒、益田の高島での日々を記した「石見瀧高嶋記」など青年期の資料六点を収録。十二歳のとき、京都に出向いた道中の出納帳は、げたの代金、そば代などが細かく記載され、伊豆の大島などを旅した「東京南島紀行」には三原山やクジラのスケッチも描かれている。

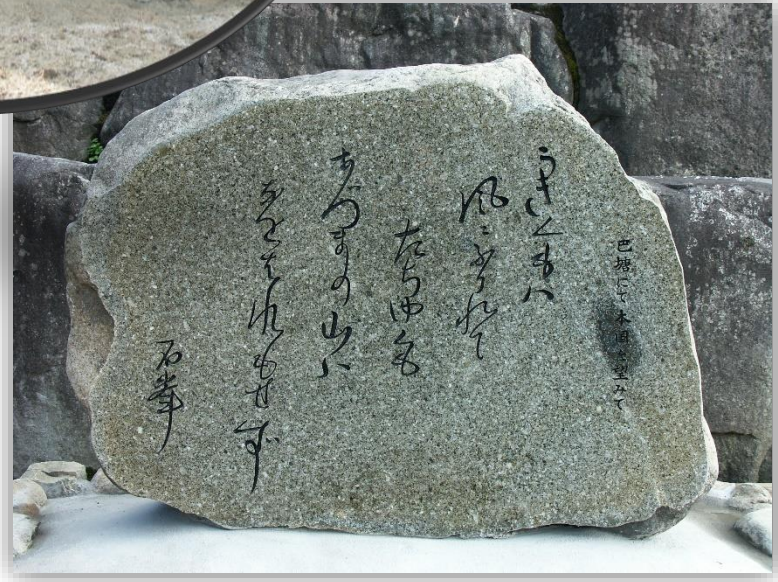
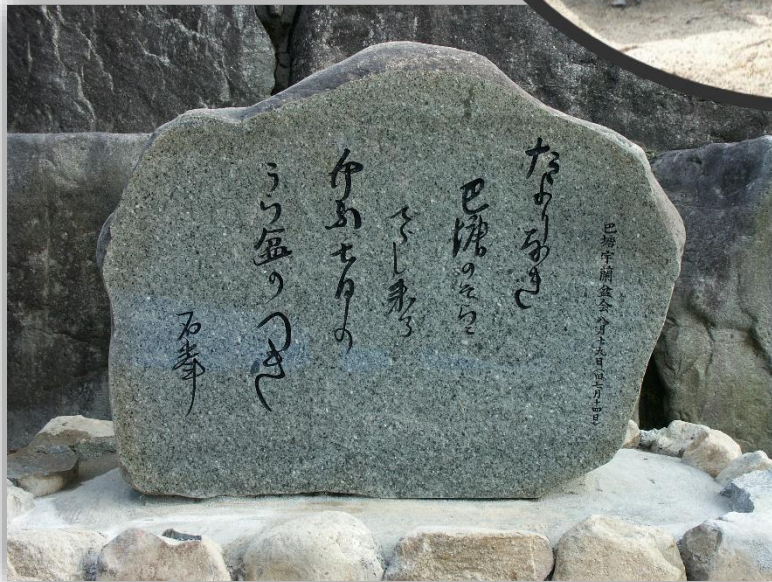
資料は「中国巡礼探検記録」「往復書簡」「大学講義記録」など内容別に収めている。今後、二カ月に一巻ずつ刊行する予定。

研究会の隅田正三事務局長は「能海の行動、心情はもちろん、交友のあった研究者や外国人の動き、少数民族の民話など、幅広い歴史をひもとく手掛かりになる」と話す。

著作集は全十四巻の一括予約制。出版元は、うしお書店(新潟県出雲崎町、電話0

2508・78・2150)。

能海寛歌碑建立事業





能海寛歌碑建立事業

能海寛歌碑除幕式 2005. 4. 18

歌碑除幕式の後、薬師山にて



能海寛の歌碑建立

金城・浄蓮寺 偉業たたえ除幕式

島根縣金城町出身のチベツト探検家・能海寛（一八六八―没年不詳）が故郷を詠んだ歌を伝えようと、地元の波佐文た。

化協会が、町内に歌碑十基を建立した。一九〇二年に能海が消息を絶つる同協会が、町ふるさと活性化助成金や能海寛研

究会員の寄付など約百六十万円をかけた。石碑に刻まれた歌は一九〇九年、能海が中国で故郷を思い浮かべて詠んだ十首。波佐本松城を詠んだ「ものかは星つらける今の世も 尚みどりなる城山の松」、龜遊山大蔵神社の夜神樂を詠んだ「神

まつるづみは山になり
ひびき 焚かがり火や川

に「つづみ」など、佐佐八重を題材にした歌もあり、それぞれゆかりの地に設置した。

除幕式では同協会の隅田正三会長が「能海が農村から世界を動かす行動を起こしたことを重くか

建立された歌碑の前で能海寛ゆかりの曲を演奏する岡崎秀紀研究会副会長三島根県金城町長田、浄蓮寺

みしめ、今後も顕彰を続
けたい」とあいさつ。研
究会の岡崎秀紀副会長
が、オカリナを演奏し能
海の功績について講演し
た。

歌碑10基生誕地金城に完成

チヘット探検の先駆者、能海寛（一八六八—一九〇一年）の歌碑土基が出身地の金城町内八カ所に完成し十八日、生誕地の同町長田、浄蓮寺で除幕式などがあった。

同町の波佐文化協会、隅田正三会長）の建立実行委が著作集（全十四巻）の刊行開始、能海寛究研究会発足十年などを記念して企画、町の助成金、有志の寄付など総事業費約百六十万円で建立した。能海が中国で故郷を思つて詠んだ和歌を、町民俗資料館、寺社などゆ

チベット探検の先駆者

能海寛の果敢さ後世に

かりの地近くに配置した。

式には関係者約三十人が出席。隅田会長は「山村から世界を動かそうとした能海の生き方を後世に伝えたい。歌碑巡りのウオークラリー、サイクリングなどにも活用してほしい」とあいさつ。除幕後、能海寛研究会の岡崎秀紀副会長によるオカリナ演奏、ミニ講演会があり、この日がチケットに向けて旅立ち、消息を絶った「命日」に当たることから没後百四年目の記念法要も営まれた。



「能海寛師顕彰碑」の前に建立した歌碑の完成を祝う関係者

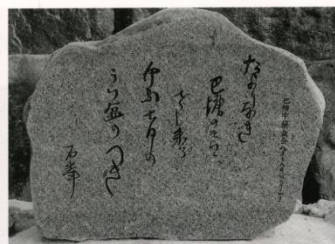
能海寛の偉業を 後世に伝える 歌碑建立

能海寛歌碑建立事業は、『能海寛著作集』が今年3月から全14巻が発刊されることと決定したこと。2004年第1回「能海寛ふるさと100キロトレイル遠足(とおあし)」が昨年10月に全国28県から多くの参加者を迎えて開催されたこと。また能海寛研究会が発足して満10周年になったことなどを記念して実施されたもので、能海寛の命日にあたる4月18日に浄蓮寺で除幕式が行われ、関係者約30人が出席しました。

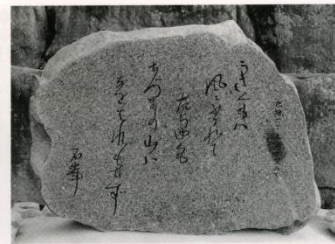


花城登山口の歌碑

歌碑は、能海寛が明治32年に中国金沙江で詠んだ2首と明治33年に能海寛が中国でふるさとを思い浮かべ波佐八景を詠み、ふるさと浄蓮寺に送り届けていた歌8首を石碑に刻み、合わせて10基が歌の詠まれた関連の場所に設置されました。



浄蓮寺能海寛顕彰碑前に設置



浄蓮寺能海寛顕彰碑前に設置



ものかはり 星つりける 今の世も
尚どりる 松山の城
夜をめて 神樂いぬる 里まつり
山田の中も 夜半のさかき
つないふ 姫かくれる あじなりと
さあつらん 中谷の城

ときわ会館庭南側入り口に設置
常磐山八幡宮境内に設置
三栄町内花城北側に設置

千はふる 神はまきん 常磐山
ふりしげれる 奥津ゆかし
法の山 も空にしく 錦なり
鳥さへつる 法とくん

常磐山八幡宮境内に設置
民俗資料館庭南側に設置

あかつに 雲をくぐり なりわなる
かまにゆめを さき手なるん
神まつる つみは山に なりひき
焚きがり火や 川にうつるふ

浄蓮寺薬師山に設置
龜遊山大蔵神社境内に設置

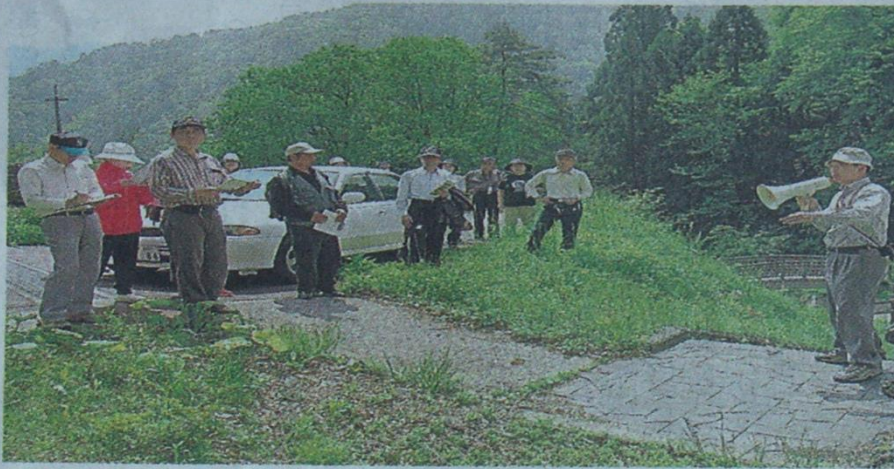
すがわに まれる神や すがわの
ならふ子供の 津島のや

波佐天満宮境内に設置

能海寛略歴



法名を石峰と号す。明治元年大字長田の浄蓮寺で生まれる。哲学者、探検家、宗教家として釈迦直伝の大蔵經の經典を求め英訳經典を世に出す目的で当時鎖国中であつたチベットへ渡り、仏教巡礼探検を実践した。明治34年4月18日チベット探検中に消息を絶ち、亡くなつたとされている。



笠松峠の畳石の歴史について隅田正三会長から説明を受ける参加者

波佐の歴史文化 ガイドします!!

23人参加 養成講座始まる

浜田・金城

地域の歴史文化を学び、ガイドできる人材を育てようと、浜田市金城町の波佐地区で「ふるさと案内人養成講座」が二十一日、始まった。参加者は一日かけて、神社仏閣や資料館などを巡り、故郷の価値を再発見した。

波佐公民館が公募し、地元の一七〇代の男女二十三人が参加。波佐文化協会の隅田正三会長が講師を務め、四回シリーズで開講する。

同日はチベット探検家・能海寛の顕彰碑や常磐山八幡宮、歴史民俗資料館など十三カ所を見学。このうち、津和野藩の主要街道だった町指定史跡「笠松峠の畳石路」では、隅田会長が「和紙と鉄の道」として活用された歴史を紹介。「長さ一

・二坪は全国二位で、とても貴重な畳石路。坂道でも、馬のひづめが滑らないよう工夫されている」と話し、ガイドのポイントも細かく説明した。

浜田・金城波佐地区

江戸時代の交通路の畳石やチ

ベット探検家・能海寛

(一八六八年)没年不

詳)の資料が残る浜田

市金城町波佐地区の歴

史や文化を学ぼうと二

十一日から、波佐公民

館で「ふるさと案内人

養成講座が開かれる。

参加者を募集中で、締め切りは

同地区の旧跡などをガイドで

きる人材を育成しようと同公民

学ぶ座学などを開く。

21日から講座 20人募集

募集定員
は二十人
で、資料代

館が開催。波佐文化協会の隅田

正三会長が講師を務める。

講座は今月から八月まで毎月

一回開催。二十一日午前十時か

ら開く第一回は、同町出身の能海の日記などを収蔵する浜田市金城歴史民俗資料館や、畳石が残る笠松峠など十三カ所を散策。来月からはガイドの心得を学ぶ座学などを開く。

に同公民館まで(電話0855・44・0146)。



能海寛

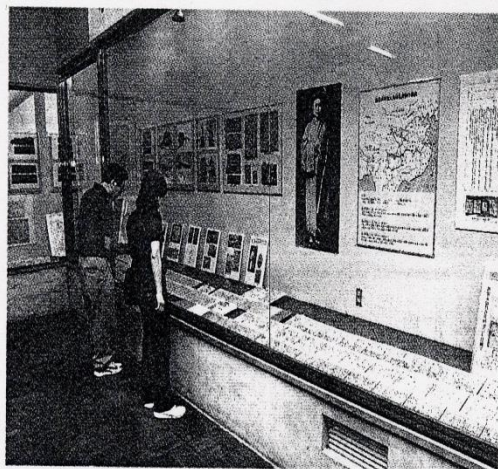
クリック
のうみ・ゆたか 18
68年生まれ。12歳で得

浜田 能海寛の大規模展

中国探検の足跡 愛用品から知る

チベット探検中に消息を絶った浜田市金城町出身の学僧、能海寛(一八六八年生まれ)の遺品や日記などを集めた「能海寛展」が同市黒川町の市浜田郷土資料館で開かれている。未公開の資料を含め三百三十六点が出品された初の大規模展だ。十二月十五日まで。無料。

(田中伸武)



中国での旅日誌などの資料が展示されている能海寛展

未公開資料含む336点

展示されているのは、これまで公開された一九〇一年に消息を絶つまでの中国での約一万二千キロの旅の日誌やスケッチ、収集した文房具、経典など。生前、日本に送られていた。四川省の峨眉山で入手した拓本などもある。

展示は複写した資料が多いが、尺八、印鑑、すりなど愛用品は現物を出品。能海が訪ねた中国各地の現在の風景写真も添えられ、能海の一生涯の探検の様子が生き生きとよみがえってくる構成になっている。今回の展示は、金城町と浜田市などの合併一周年を記念した企画展。出生した金城町の浄蓮寺に残る計三千五百点の遺品の中から能海寛研究会(横田禎昭会長)が整理し、パネルなどにまとめた。

伝記の感想文募集

度し西本願寺の普通教
校、慶応義塾哲学館(現
在の東洋大学)で学ぶ
鎖国のチベットの経典を
求めるため1898年出
国。1901年「今から
チベットに入る」という
内容の手紙を中国・雲南
省から出した後、消息を
絶った。

今回の資料展を記念して金城町の波佐文化協会(隅田正三会長)は、四年前に出版した伝記「まんが西藏探検家能海寛」の読後感想文を募集している。四百字詰め原稿用紙二枚程度かそれ以上。応募作は文集にそれ以上発行する。〒697-1021 1浜田市金城町波佐イ三九四、波佐文化協会。



能海寛の顕彰碑の前で、隅田正三さんの説明に耳を傾ける「歌碑めぐりウォーキング・ラリー」の参加者—浜田市金城町長田

能海寛に思いはせ 金城 市民ら20人 歌碑巡る

浜田市金城町出身のチベット探検家・能海寛(一八六八年—没年不詳)が故郷を詠んだ歌を刻んだ歌碑を巡るウォーキング・ラリーが十九日、同町内で行われた。あいにくの雨天となったが、参加者は豊かな自然に触れながら、先人の偉業に思いをはせた。

同ラリーは能海の歌碑をはじめ、町内に残る名所旧跡を広く知ってもらうと、町内のふるさと案内人らでつくる実行委員会が初めて主催した。

県内から参加した二十人は、同町のときわ会館を発着点に、能海の生誕地で、顕彰碑もある浄蓮寺のほか、大歳神社や波佐天満宮など、波佐、長田地区に点在する歌碑十基を巡る約六キロのコースを訪ね歩いた。

各地では、昨年、歌碑を建立した同町の民間文化団体・波佐文化協会の隅田正三会長(64)が講師を務め、歌の説明やまつわるエピソードを紹介。参加者は、じっと耳を傾けた。

島根県飯南町から参加した安達恵子さん(70)は「本や雑誌などで(能海寛に)興味を持ち、いつか、生誕地を訪れたいと思っていた」と話し、かなった念願に感慨深げ。隅田会長は「毎年の恒例行事として定着させたい」と、催しの継続に意欲をみせた。



①能海の資料に見入る人たち
(浜田市黒川町の浜田郷土資料館で) ②中国僧姿の能海寛



浜田 大半が初公開

能海は1868年(明治元年)、同市金城町長田の浄蓮寺で誕生、慶応義塾と哲学館(現東洋大学)で学んだ。1898年に仏教の巡礼、探検のためチベット入りを目指して中国へ渡航し、チベット語の「般若心経」を4か国語に翻訳。第3次探検中の1901年4月18日を最後に連絡が本など。

今回、展示されているのは、東京時代の英文日記「智慧と慈悲」、第1次探検の際に記したチベット仏教のスケッチなどの記録集、第2次探検の行程を詳細に記した「進蔵朝佛記」(汗魂録)、中国・四川省の峨眉山で採集した拓本など。

同研究会の隅田正三事務局長は「能海がどんな人だったか、地元の人知ってほしい」と話している。

旅の軌跡 資料340点

明治の巡礼探検家・能海寛

クリック
のうみ・ゆたか 18
68年生まれ。12歳で得

度し西本願寺の普通教
校、慶応義塾、哲学館(現
在の東洋大学)で学んだ。
鎖国のチベットの経典を
求めるため1898年出

国。1901年「今から
チベットに入る」という
内容の手紙を中国・雲南
省から出した後、消息を
絶つた。

途絶え、この日が命日とされる。

探検中に書いた日記や現地
の習俗などの記録を浄蓮
寺に送っており、1978
年に書籍約2000点、計
手紙約500点など、約
3500点が同寺から「能
海寛研究会」に寄託され、
同会は資料の整理、研究を
進める一方、一部を地元の
金城歴史民俗資料館で公開
していたが、展示スペース
が狭く、ほとんどは同館の
倉庫に眠っていた。

今回、展示されているのは、東京時代の英文日記「智
慧と慈悲」、第1次探検
の際に記したチベット仏
教のスケッチなどの記録
集、第2次探検の行程を
詳細に記した「進蔵朝佛
記」(汗魂録)、中国・四
川省の峨眉山で採集した
拓本など。

浜田 能海寛の大規模展

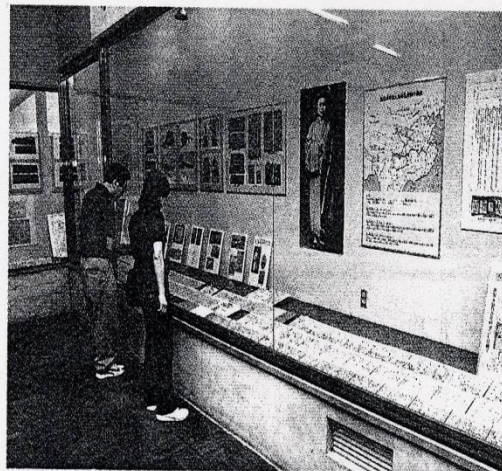


能海寛

チベット探検中に消息を絶つた浜田
市金城町出身の学僧、能海寛(一八六
八年生まれ)の遺品や日記などを集め
た「能海寛展」が同市黒川町の市浜田
郷土資料館で開かれている。未公開の
資料を含め三百三十六点が出品された
初の大規模展だ。十二月十五日まで。
無料。

(田中伸武)

中国探検の足跡 愛用品から知る



中国での旅日記などの資料が展示されている能海寛展

未公開資料含む336点

展示されているのは、
一九〇一年に消息を絶つ
までの中国での約一万二
千キロの旅の日記やスケッ
チ、収集した文房具、経典
など。生前、日本に送ら
れていた。四川省の峨眉
山で入手した拓本など
などもある。

展示は複写した資料が
多いが、尺八、印鑑、す
ずりなど愛用品は現物を
出品。能海が訪ねた中国
各地の現在の風景写真も
添えられ、能海の一生涯
と探検の様子が生きたこと
よみがえってくる構成に
なっている。今回の展示
は、金城町と浜田市など
の合併一周年を記念した
企画展。出生した金城町
の浄蓮寺に残る計三千五
百点の遺品の中から能海
寛研究会(横田慎昭会長)
が整理し、パネルなどに
まとめた。

伝記の感想文募集

今回の資料展を記念し
て金城町の波佐文化協会
(隅田正三会長) は、四
年前に出版した伝記「ま
んが西蔵探検家能海寛」
の読後感想文を募集して
いる。四百字詰め原稿用
紙二枚程度がそれぞれ。
応募作は文集にして発行
する。〒697-1021
1浜田市金城町波佐イ三
九四、波佐文化協会。

(2006. 9. 15~1215)

千ベツ巡礼探検の先駆者
求道の師『能海寛展』

『能海寛展』の開催にあたって
この度、『能海寛展』を企画開催いただき感謝申し上げます。能海寛研究会では、能海寛の生涯で
ある浄蓮寺様のご協力の下に能海寛の本公開資料をはじめこれまで、能海寛研究会の会員各位が
研究を重ねてきた成果を、この機会に一挙に公開することといたしました。
能海寛は、没後100年以上経過後の今日でも、われわれに与える感動と感銘は一体どこに起因し
ているのでしょうか。精密な行動計画と正確な記録、外国語の習得などの得意な所、蘭学科学の
幅広い知識の習得・応用、崇高な精神力とチャレンジ精神、どれをとっても驚かすことばかりです。
この機会に、多くの方々に能海寛の生き方を学び生活の中で活かしていっていただければ幸いです。

能海寛研究会 横田 誠 展

『まんが 西藏探検家 能海寛』の活用にあたって

波佐文化協会では、能海寛の顕彰活動を30余年に亘って行っていますが、この『まんが 能海寛』が
西藏探検家 能海寛、本を企画いたしました。『まんが』と『資料』を合併してあります。
これは、ご家族などでも、幅広い年齢層で、ご愛読いただくために企画しました。小学生の
いらっしゃるご家庭では、是非とも大人の方が『資料』を読みこなされ、ご助言、ご指導願ければ幸
いであります。
学校、地域、ご家庭において、郷土の偉人『能海寛』について、『人間の生き方』について、話題に
なされてください幸いです。

今回、ご購入されたお方に読後感想文をお願い

今回、新潟市合併一周年を記念して浜田郷土資料館の企画で『能海寛展』が開催されるのを
記念して『まんが 西藏探検家 能海寛』の読後感想文を募集いたします。応募されたお方に読後
だけでなく作品と『感想文集』を贈呈します。詳細は、募集要項をご覧ください。

波佐文化協会 横田 正 三

まんが
能海寛原画展



「能海寛展」開催に伴う「まんが西藏探検家能海寛原画展」

まんが『西藏探検家能海寛』原画展



浜田市浜田郷土資料館にて

ふるさとぶらり探訪

チベット探検家 能海 寛

「歌碑めぐり」 浜田市金城町波佐

明治三十三年二月八日に能海 寛が中国でふるさとを想い波佐八景を詠んだ歌八首と明治三十二年九月二十七日に金沙

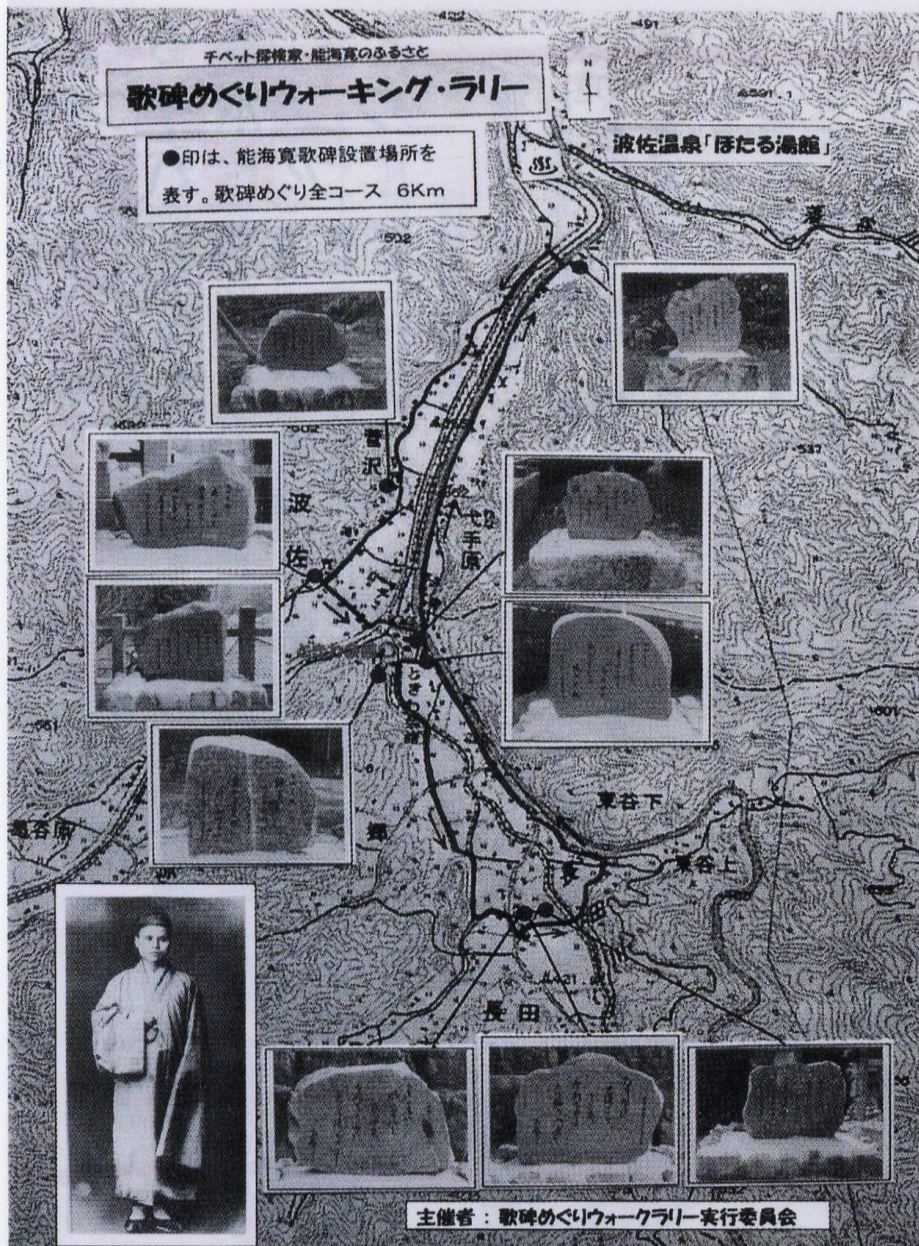
江で詠んだ歌二首が石碑に刻まれています。場所は金城町波佐地区から八景が見える場所に設置されています。距離的にも最適なコースですし、快適な季節とな

資料提供・問い合わせ先

波佐文化協会 会長 隅田正三さん

(〇八五五―四四―〇〇一〇)

も最適なコースですし、快適な季節とな





第1回能海寛歌碑めぐりウォーク 2007.5.5開催



能海寛詠の歌碑

浄蓮寺薬師山からハクモクレンを観る

感謝状

波佐文化協会殿

貴会は結成以来十八年間地域文化活動を積極的に推進されておりなかでも
ふる里カルチャー「なわて塾」を開校
し特に福祉部会で長寿社会への対応
と住民意識の高揚を図られ地域福祉
の向上に努力された功績は極めて
顕著であります

ここに法人化二十周年記念福祉大会
にあたり深く感謝の意を表します

平成二年十月二十八日

社会福祉
法人 金城町社会福祉協議会

会長

服部義人



感謝状

波佐文化協会

会長 隅田正三殿

貴文化協会は昭和四十七年波佐公民館
が設置されて以来二十余年の永きにわたり
会員一致協力のゆと公民館の管理運営
に当たられ地域文化の発展と郷土愛の
推進向上に多大な貢献をされました
ここにその御功績をたえ金一封を贈り
感謝の意を表します

平成六年三月二十八日

金城町教育委員会



表彰状

島根県ふるさとづくり賞

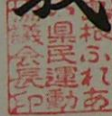
波佐文化協会 殿

貴団体は多年にわたりふるさと
づくり運動を続けられ豊かな
地域社会の創造に尽くされ
多大の成果を挙げられました
よってここに表彰します

平成十一年十二月九日

島根ふれあい県民運動協議会

会長 澄田信義



表彰状

波佐文化協会 様

貴会は多年にわたり地域文化活動の
リーダーとして人文や風土の探求を
通じて生涯学習を推進され地域文化
の振興に貢献された功績は誠に顕著
であります

よってここに金城町閉町式にあたり
表彰します

平成十七年九月二十四日



金城町長 安藤美文





サントリー地域文化賞

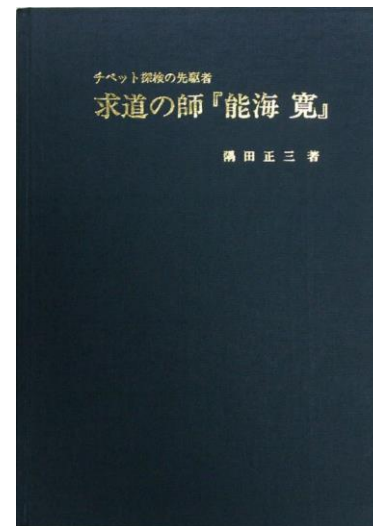
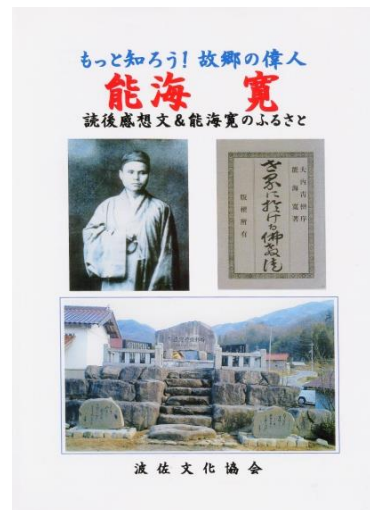
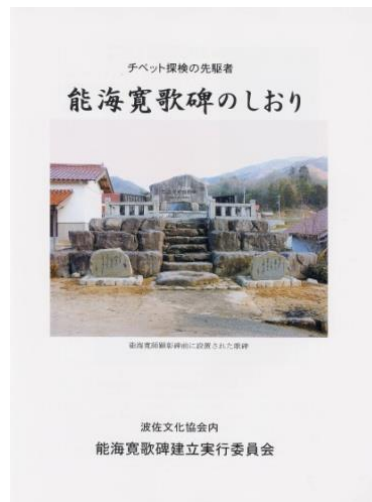
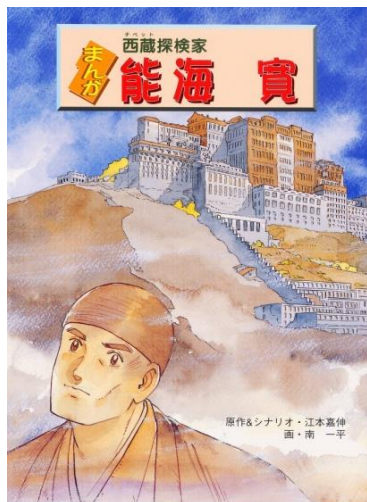
波佐文化協会 殿

生涯学習を柱にした長年の地域活動の
優れた業績を讃え、
敬意を広く顕らかにします。

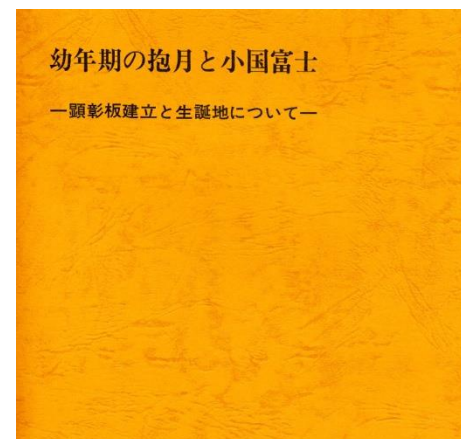
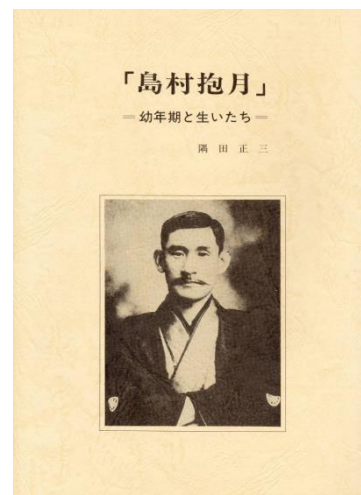
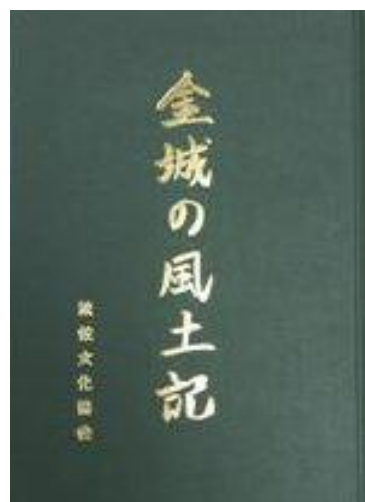
2000年6月23日

財団法人サントリー文化財団

理事長 鳥井信一郎



波佐文化協会刊 ふるさと図書



ふるさと図書

実践民俗学提唱 45年の歩み



西中国山地民具を守る会

チベット巡礼探検家
能海寛の顕彰活動全記録



能海寛研究会
浜田市金城町家氏

石峰通信



かなぎ民俗だより



浜田市金城民俗資料館



浜田市金城歴史民俗資料館

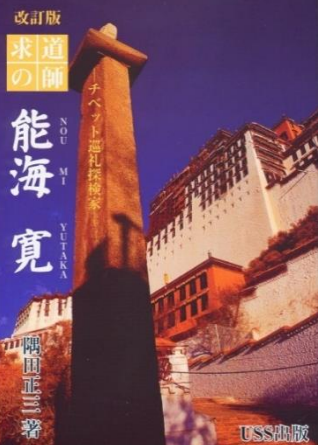
西中国山地民具を守る会

〒097-0211 浜田市金城町家氏
TEL 0853 44 0146 FAX 0853 44 0120

民具通信



西中国山地民具を守る会



石見波佐地方の
紙漉き習俗

隅田正三 紙漉き習俗研究会



民具を用いた労働慣行
～実践民俗学を提唱して40年～



西中国山地民具を守る会編

地下農民の生活史

隅田正三 著



浜田市金城町家氏

チベット巡礼探検家
求道の師『能海寛』

隅田正三 著



波佐文化協会

石峰 & 抱月のふるさと金城町
「地域まるごと博物館」

<http://www.hazaway.com>



波佐文化協会 2015. 12. 20作製